令和５年度第1回みたけの郷デイサービス運営推進会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業者名 | 社会福祉法人　岩手県社会福祉事業団  みたけの郷デイサービス |
| サービス種別 | 地域密着型通所介護  介護予防・日常生活支援総合事業  基準該当生活介護事業 |
| 開催日時  場所 | 令和５年１２月５日（火）１４時から１５時  みたけの郷デイサービス　集会室 |
| 出席者 | 滝沢市社会福祉協議会主任　晴山雄太　様  滝沢市高齢者支援課主事　小西雄也　様  みたけの郷デイサービス利用者　2名  みたけの杜施設長　與羽州子  みたけの郷所長　道上瑞子  みたけの郷デイサービス介護員兼生活相談員　高橋美代子 |
| 司会進行 | みたけの郷所長　道上瑞子 |
| 議事録作成日 | 令和５年１２月７日（木） |
| 議事録公表日  （予定） | 令和６年　２月１日（木） |
| 議事録作成者 | みたけの郷所長　道上瑞子 |

１　当日の次第

　（Ⅰ）開会

　（２）挨拶（みたけの杜施設長　與羽州子）

　（３）委員紹介

　（４）協議

　　　①　事業所の運営方針

②　令和５年度満足度調査結果について

③　嗜好調査結果について

④　福祉サービス提供自己チェック結果と改善計画について

⑤　前回の会議での意見および質問について

⑥　意見交換

(５)　その他

２　事業所の運営方針について

　　 資料１に基づき、みたけの杜與羽施設長から説明を行いました。

３　満足度調査結果について

　　　利用者14家族に配布。9家族から回答がありました。「改善して欲しい」との回答は無く、「良い」の回答が大半でした。デイサービスからの連絡、お便りについての項目で『一日の様子が知ることができて楽しみにしています』との記載がありました。家族のデイサービスでの様子を知りたいとの心情が伺われました。これからも連絡帳への記録、写真、作品、広報などをお渡しして、デイサービスでの様子を伝えていくことを職員間で申し合わせました。

４　嗜好調査結果について

　　　昼食は、地域活動支援センター「歩夢」の弁当をデイサービスで暖め、手作り味噌汁や収穫した野菜、果物を添えて提供しています。嗜好調査の結果はおおかた好評でしたので、この結果を今後の参考にしていきます。食事の量の調査結果から、食事量についての調整はすでに実施しました。

５　福祉サービス提供自己チェック結果と改善計画について

　　　当法人では、通所事業所は第三者評価を受審していませんが、毎年、評価機関の評価基準自己評価表を使って自己評価を行い、評価結果に基づいて改善計画を作成し改善に取り組んでいます。昨年度は評価結果から「意見に対する対応マニュアル」を整備しましたが、今年度は、日常支援の中の「健康管理についてのマニュアル」の作成を改善計画としました。

　　　小西様：マニュアルは継続的な取り組みが必要と思いますので、対応が途切れないようにしていただきたいと思います。作るだけではなく機能させることが大切。

　　　道上：マニュアルに関しては、そこが課題だと思っています。少なくとも1年に1回は見直し、職員間で周知できるよう努めていきたいと思います。

６　前回の会議への意見および質問について

* 事業団の事務指導において「ニコリホッとの取組」が評価されており、今後も継続

していただきたいと思います。

　⇒　今年度も、職員から「ニコリホッと」を書いてもらい、毎月の職員会議で紹介することを続けています。事業の重点項目にあります『７　常に「称賛・承認・共感」を伝え合う「お互い様」の職場づくり』の取り組み』のひとつとして、良い効果を感じています。

* 年間を通じて様々なテーマの研修を行っており素晴らしいと思いました。障害者差

別解消法に関する研修の実施もお願いします。

　⇒　今年度も定期的に研修を行っています。障害者差別解消法については後期に実施したいと思っています。次回会議で年間の状況を報告します。

７　意見交換会

　　　晴山様：デイサービスの居心地の良さが、利用者の方々の笑顔に表れていると、いつも感じています。利用者のみなさんがやりたいことを、職員と利用者が一緒にやっているのが良いと思います。コロナ禍前には盛岡北高校の生徒とみたけの郷デイサービス利用者とのクリスマス交流会に関わらせていただきました。生き生きと交流している様子が見られました。

　　　與羽：現在、みたけグループの放課後等デイサービスに盛岡北高校の生徒がボランティアに来てくださっています。その際にも関わっていただきました。ありがとうございます。

　　　晴山様：小、中学校は地域とのつながりがありますが、高校はあまり無いので、高校生との交流は貴重だと思います。これからも機会があれば、いろいろな関係づくりに協力したいと思います。

　　　柴本様：以前、地域の方がボランティアで三味線を聞かせてくれたり、歌ったりしてくれました。私は歌が好きなので、また来てもらいたいです。

　　　道上：コロナ禍でボランティアをなかなか受け入れることができない状況にありましたが、少しずつ再開していきたいと思っています。

　　　小西様：経営方針にあった「称賛・承認・共感」は、とても大切なことだと思います。より良いサービスを提供するためには、職員間の関係が良好であることも必要なことで、国保連に寄せられる苦情でも職員間のコミュニケーション不足によるものが多くあると聞いています。これからも引き続き取り組んでもらいたいと思います。

　　　晴山様：デイサービス内に掲示してある作品を、地域の文化祭に出展して紹介するなど地域との交流を行ってはどうでしょうか。広告紙でごみ箱を作っていますが、地域のサロンに寄付するなども良いのではないでしょうか。

　　　高橋：展示会に出展することは制作の意欲につながると思います。広告紙のごみ箱は、利用者の方が作って持ってきてくださるので、活用できれば良いと思います。

　　　道上：みたけの郷も地域の自治会に加入しているので、展示会の参加等検討したいと思います。たくさんのご助言をいただきありがとうございました。

８　その他

　　　令和５年度第2回運営推進会議は令和６年３月上旬に開催を予定しています。